



令和4年2月10日

各位

会社名 大黒屋ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号 6993 東証第二部)
 問合せ先 財務経理部長 堀内 治芳
 (TEL. 03-6451-4300)

令和4年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社では、最近の業績動向を踏まえ、令和3年11月12日に公表しました令和4年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和4年3月期通期連結業績予想数値の修正 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	包括利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	百万円
前回発表予想 (A)	19,372	981	832	329	2.81	402
今回修正予想 (B)	17,777	105	△94	△175	△1.49	△155
増減額 (B-A)	△1,595	△875	△926	△504	△4.30	△558
増減率 (%)	△8.2	△89.2	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (令和3年3月期)	12,606	△352	△712	△716	△6.13	△772

2. 通期連結業績予想の修正理由

当社では、国内において第3四半期までは10月以降新型コロナウイルスの感染者数が激減しその影響が一旦落ち着きを見せた事で人の往来が増え、渡航制限も更に緩和された事から国内での利幅の取れる各店舗での国内外の個人顧客による需要の回復が見込めるものと想定していましたが、新たな変異株であるオミクロン株の発生による第6波の感染再拡大に伴うコロナロスが再び顕在化した結果、令和3年11月12日に公表した通期業績予想値を上記のとおり修正いたします。

なお、前期対比では売上高及び営業利益は増収増益、経常利益以降は大幅な改善になる見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上